

地域産業分野 受賞

株式会社 今井産業

【代 表】 代表取締役 今井 公文
【住 所】 平川市
【業 種】 建築資材卸売業

【事業概要】

昭和 23 年創業、昭和 48 年会社設立。地域に根付いた建築資材卸売業者として 67 年の実績を持つ。

当社は、約 10 年前より県の産業技術センターや職業能力開発大学校等の指導を受け、木材を波型に連続曲げ加工した木質素材「e-Wood+（イーウッドプラス）」を開発。原料は県産杉をメインとしているが、りんごの間伐材でも製造に成功した。別名「木のダンボール」と言われ、軽量かつ丈夫、また、ダンボールより水に強いことからプラスチックに比べコストパフォーマンスも高く、各種メディアに取り上げられるなど注目を集めている。

【推薦理由】

同素材の完成まではふるさと財団や中小企業庁他、各種補助金を活用し、製造機械の製造から自社で改良を重ね、約 10 年を費やした。

現在、1 次加工を「(株)ランバーテック工業」（平成 26 年 12 月設立）、2 次加工を「(株)今井産業」、販売会社を「WOOD MAKER JAPAN(株)」（平成 26 年 10 月設立）という 3 社連携での同素材の普及体制を構築。「WOOD MAKER JAPAN(株)」については、「e-Wood+」の素材販売の他、同素材を活用した商品を取り扱いたい首都圏企業等と提携し、顧客ニーズに合致した商品を企画・販売する。当該商品は、WOOD MAKER JAPAN のロゴマークを必携して販売する手法をとり、ブランドの確立・普及を狙っている。

今年度からはいよいよ素材及び素材を活用した商品を一般消費者向けに大手雑貨店等にて販売する予定となっている。地域資源を活用した新素材の開発と、新たな販売戦略による取組は、成長性および地域貢献度が高く、県内企業への販売戦略の模範となる事例である。

以上

地域産業分野 受賞

株式会社 橘機工

- 【代 表】 代表取締役 橘 賢志
【住 所】 五戸町
【業 種】 金属切削加工業

【事業概要】

昭和 58 年創業、昭和 62 年会社設立。創業当時は、製材工場のライン設備の設計・製造等を手がけていたが、製材業の低迷を受け平成 16 年に旋盤とマシニングセンターを導入し、金属切削加工による各種装置部品、航空宇宙機器、自動車部品、医療機器の製造へ業態転換した。

高付加価値の部品加工を実現するため、切削加工技術の向上と人材育成に取り組み、H2 ロケット等宇宙関連機器の部品を供給するまでの加工プロセスを独学で習得した。2012 年には AS9100 (ISO 規格に航空宇宙産業の求める品質管理基準を加えたもの) を取得。航空機の脚部分を製造する国内唯一の大手メーカーと提携し、国内発にして最新鋭の航空機ホンダジェットとMRJの脚部品を納入するに至る。

【推薦理由】

当社の技術力は鉄、ステンレス、アルミを始めとする一般鋼からチタンなどの難削材までを立体的かつ高精度に削り出す技術に特出。自社独自のノウハウ、加工プロセスで部品製造を行っていることから、他社にはない技術力を誇る。また、開発試作品の受注時には、自社での設計能力を有する生産技術部門が対応しており、県内企業としては別格の技術力・提案力を保有していると言える。

今後は、航空機部品の量産体制を検討していることから、飛躍的な企業の成長が期待できる。また、同社は県内ものづくり企業と連携体 (T M e c h) を構築し、自社のみならず地域の業界発展への取組みを牽引していることから地域貢献度が高い。こうした特筆すべき技術力や今後の企業の発展性、地域貢献度は高く評価されるものである。

以上

地域貢献分野 受賞

青森スポーツクリエイション 株式会社

- 【代表】 代表取締役 下山 保則
【住所】 青森市
【業種】 スポーツオペレーション事業
(プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」運営)

【プロフィール】

日本プロバスケットボールリーグ (bj リーグ) に 2013-2014 シーズンから参戦した県内初のプロスポーツチーム。2013-2014 シーズンは初シーズンながらも東 11 チーム中 6 位でプレイオフ進出を果たしたほか、リーグのシーズンアワードではベストブースター賞に選ばれた。2014-2015 シーズンにおいても昨年同様 6 位の結果を残し、観客動員数は全 22 チーム中 6 位と、その人気は依然として高い水準にある。

【推薦理由】

青森ワッツというチームができたことで交流人口が増え、消費の刺激に繋がっており、2013-2014 シーズンでは 5 億円超の経済効果をもたらしている (出所: 青森地域社会研究所)。また学生や子供向けバスケットボール教室の開催や、チアチームによる福祉施設慰問、キャラクターの保育園訪問など、バスケットボールの普及やそれ以外での地域貢献活動の面でも果たした役割は大きい。経済効果、地域貢献の両面からその実績は高く評価されるものである。

以上

地域貢献分野 受賞

十和田バラ焼きゼミナール

【代 表】 学長 木村 長敏

【住 所】 十和田市

【設 立】 平成 20 年

【プロフィール】

平成 20 年、「十和田バラ焼きで十和田のまちを元気に！」を合言葉に、十和田市民有志で発足。以降、市内外のイベントやメディアを通じて、「十和田バラ焼き」をツールに全国に十和田市を発信している。

【推薦理由】

日本各地の街おこし団体が一堂に会する B-1 グランプリでは平成 22 年の初出展以降毎年入賞を続け、平成 26 年 10 月に福島県郡山市で開催された B-1 グランプリ全国大会ではゴールドグランプリを受賞。これまで青森県の県南地方でしか知られていなかった「十和田バラ焼き」を全国区に押し上げた。

今年度は、B-1 グランプリ全国大会の十和田市開催誘致に成功。全国から 62 のまちおこし団体が集まり、来場者は日本全国から約 30 万人を見込んでいる。

現在は地元の小学校や高校もパートナーとして参画しており、地域をあげての取り組みとなっている。また、活動の傍ら震災直後から被災地で炊き出しを行うなどその活動は多岐に渡り、経済効果・地域貢献の面で評価される。

以上